

TC 通信

No 104 2022年3月号

- ◆ティーンズ世代=10代のための読書情報誌です。
- ◆ご紹介する本は特に記載がない限り、図書館3階ティーンズコーナー所蔵です。



ティーンズコーナーに新しく入った本からピックアップ。



『かくされた意味に気づけるか？』

3分間ミステリー ねじれた世界』

和智 正喜/著 ポプラ社 913/ホフ/21

3分間ミステリーシリーズの新刊です。1つのお話が1～3分くらいと短時間で読めるので、初めてミステリーを読むという人にもおすすめ☆1話終わるごとに“かくされた意味”が入り、その物語の真相を教えてください。

今作「ねじれた世界」は、現代や異世界などのお話が出てきます。あまり話してしまうとネタバレになってしまいそうなのでここに書くのを控えますが、常識ばかりを考えるとその謎には到達できないかも…。ちょっとした違和感に注目です。ちなみに私のおススメは「黒くて薄い四角い神様」や「究極の願い その1～その4」です☆真相を知ったときもう一度読み返したくなるはず！！



極め道



『スマホで旅行写真コツと裏ワザ』

庄子 利男/著 青春出版社 746/ス/19 4階一般

みなさんはよくスマホで写真を撮ったりしますか？

私はお出かけをして素敵な景色を目にすると、思わずスマホで写真を撮ってしまいます。しかし、結構構図にこだわったりバランスを考えたりして写真を撮るのですが、なかなか気に入ったものが撮れません。そこで今回ご紹介するのがこの1冊！

構図・アングル・光などプロっぽい写真が撮れるコツが満載の本です。シーンごとにコツや裏ワザが書いてあるのでとっても分かりやすいし、役に立ちそうです！！

あなたも素敵な写真を極めてみてくださいね

テーマ たまご

この春、進学や就職で「巣立ち」の季節を迎えた皆さん、希望を胸に大きく羽ばたいてください。まだまだ「たまご」の皆さん、焦らずゆっくり自分の夢を温めていきましょう。

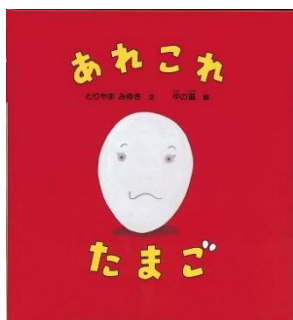
「たまご」をテーマに、おすすめの4冊を紹介します。

『あれこれたまご』

とりやま みゆき/文 中の 滋/絵 福音館書店 E/フク/07-26 3階児童

とっても「しゃべり」な卵たち。スーパーの指定席で「あれになりたい」「これになりたい」「おいしい料理になりたいねん」と自分たちがどんな料理になるのか想像しています。さて卵たちはいったいどんな料理に変身するのでしょうか…。

上の文章を見てお気づきのとおりこの絵本、関西弁で進んでいきます。もちろん卵たちも関西弁でお話しているのですが、それによってなぜか人間味を増しているのが面白い。またとってもリズムカルに物語が進んでいきます。きっと標準語ではこのテンポは生まれなかったのでは…。色彩も鮮やかで、卵たちもかわいいです。スーパーに行ったら卵たちのおしゃべりを想像してしまいそうです（笑）



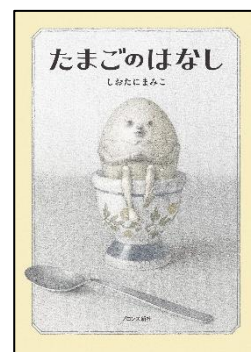
『たまごのはなし』

しおたに まみこ/作 ブロンズ新社 913/フロ/20 3階児童

これはちょっとシュールなたまごのおはなし…。あるとき突然目をさましたたまごは、仲間が欲しくてほかのたまごをたたいたりゆすったりしましたが、だれも起きてくれません。そこでマシュマロを誘って散歩に出かけます。

「やらなくてはいけないしことがあるから、ゆうがにさんぽなどいけなない。」という時計に対して、「こうすればしごとをしないでやすめるよ」となんと電池をぬいてしまいます！また、お互いに形のことでけんかしているナッツたちを、粉々にして同じ形に成型してしまい…。

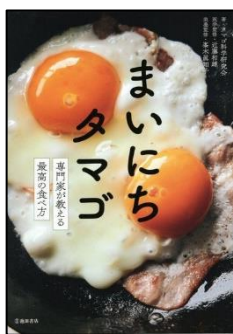
ちょっとひねくれものたまご。鉛筆の繊細な絵とともに、不思議な世界を楽しんでみませんか？じわっとはまってしまう1冊です。



『まいにちタマゴ』

タマゴ科学研究会/著 近藤 和雄/医学監修 峯木 眞知子/栄養監修 池田書店
498.5/マ/21 3階実用

タマゴといえばこれ！タマゴ料理の本を紹介します。この本の副題（サブタイトル）にもある「専門家が教える最高の食べ方」。最高の食べ方…ぐっと心をつかまれちゃいますよね。レシピだけではなく、タマゴについても科学に基づいた情報がぎっしり。タマゴは一日何個食べていいの？やタマゴを割ったときにある白いやつ（実は名前があるのです）は捨ててもいいの？など、タマゴを摂取した際の健康的側面なども掲載されています。レシピを見ているだけでもおいしそうで食べたくなるのに、体にもいいなんてますます食べたくなってしまいますよね。レシピも基本的なものから掲載されていますので、皆さん読んで作って味わってください。



『恐竜学者は止まらない！』

田中 康平/著 創元社 457.8/キ/21 4階一般

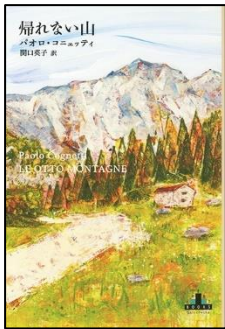
本書は、恐竜学者田中康平先生のハードな研究生活を、自ら綴った奮闘記である。恐竜といっても、田中先生が追い求めるのは「卵」。「卵化石」は恐竜が誕生する瞬間の証である。どんな恐竜がどこでどんな風に卵を産んで、どうやって孵化させていったか、はたしてイクメン恐竜は抱卵するか、などを明らかにしていく…。

そのため北海道からカナダ、モンゴル、中国、アメリカ、ウズベキスタンと世界中を飛び回り、発掘現場で奮闘する様子や、研究に没頭する著者の姿がユーモアたっぷりに語られている。ティラノサウルスやトリケラトプスなどの巨大な骨格標本のような派手さはないけれど、「卵化石」の深い謎に挑む熱意がヒシヒシと伝わってくるよ。



ボランティアさんのオススメ本 (アリスの会)

『帰れない山』 パオロ・コネッティ/著 関口 英子/訳 新潮社 973/カ/18 4階一般



原題を「八つの山」という。中央に最も高い山がそびえ、そのまわりを八つの山がとり囲んでいるという、古代インドの世界観からとられているらしいが、これが何を意味するのか。

舞台は北イタリア、モンテ・ローザ山麓、行ったこともないこの山村の情景が目の前に浮かんでくるような物語だった。

街の少年ピエトロは、一家でこの山村で毎夏を過ごすことになり、山の少年ブルーノと出会い、互いの人生においてかけがえのない存在となる。しかし、沢を駆け山を登り共に過ごした少年時代の終焉は、父親との確執とともにやってくる。

大人になった二人の再会と再生は、皮肉にも父の死がきっかけとなり、父が残した山村からさらに高い山にある廃屋を修理することから始まった。だが物語は真っ白な冬景色を私たちにも提示して問いかける、

いかに生きたか、いかに生きればいいのか、と。

図書館員 A の本棚

辞典じゃないよ、事典だよ。辞典と事典の違いは、辞典は言葉で事典は事物です。

世の中には様々な事典が発行されていますが、その中でも選りすぐりの事典を紹介したいと思います。きっと何かの役に立つ。ジャンルはバラバラの事典たちを選んでおきました(えっへん)。いったい何が起きたらこれらが役に立つのかは、あなた次第。多くの知識はきっとあなたの財産になるはずです。

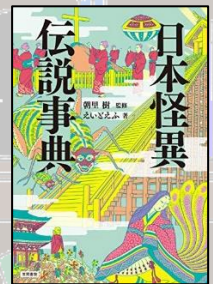
『魔女の庭 不思議な葉草事典』

サンドラ・ローレンス/著
林 真一郎/監修
堀口 容子/訳
グラフィック社
499.8/マ/21 3階実用



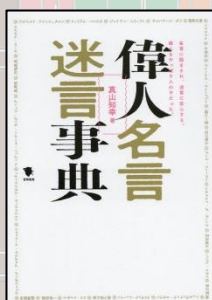
『日本怪異伝説事典』

えいとえふ/著
朝里 樹/監修
笠間書院
388.1/ニ/21 4階一般



『偉人名言迷言事典』

真山 知幸/著
笠間書院
280.4/イ/21 4階一般

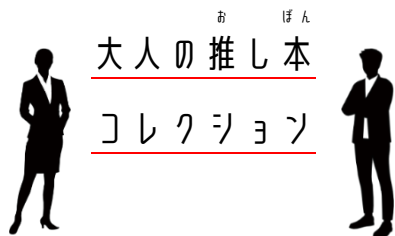


『身の回りを数学で説明する事典』

コリン・ペバリッジ/著
今野 紀雄/監訳
大光明 宜孝/訳
ニュートンプレス
410.4/ミ/20 4階一般



大人の お 推しコレ



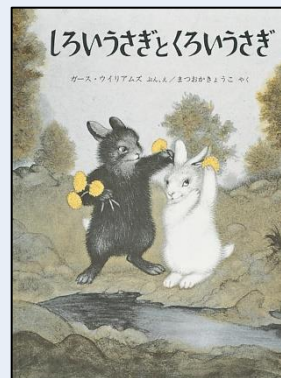
お ぼん
大人の推し本
コレクション

『しろいうさぎとくろいうさぎ』

ガス・ウィリアムズ/ぶん、え

まつおか きょうこ/やく

福音館書店 E/フク/20-31 3階児童



やわらかいタッチの絵と素朴なストーリーの名作絵本で、皆さんも小さいころに誰かに読んでもらったり、自分で読んだりしたかもしれません。

「なぜティーンズ？」と思われるかもしれませんが、この絵本は読むごとに、いろいろなことを考えさせてくれます。自分と他人と違うこと、将来のこと、恋愛のことなど、様々な悩みや不安があること。また、違いを認め合うこと、強く思い願うこと、悩みを一人で抱え込まないことによって幸せになれることなど…。改めて読んでみると、小さいころとは違った新たなメッセージを感じとることができるかもしれません。

名作 たからばこ



『ショヴォー氏とルノー君のお話集1 年をとったワニの話』

レオポルド・ショヴォー/文と絵 出口 裕弘/訳 福音館書店 9/10 閉架児童

著者ショヴォー氏は、生涯に不思議な物語を数多く残した。その中に、彼が4歳の息子ルノー君に語ったお話に自ら絵をつけた『ショヴォー氏とルノー君のお話集』がある。本作はその代表作として最もよく読まれているという。

主人公は「ワニ」。たいそう長生きで、若い頃にピラミッドが造られるのを見た。ここ5、60年はリューマチがひどくなり、生きた餌が取れなくなる。そうしてついに、眠っているひ孫を食べてしまう。一族の非難に合い、彼は故郷のナイル川を去り海に出る。そこで出会ったタコ。共に暮らすことになったタコの足はなんと12本。その時は…。

ナンセンスというか、残酷というか、シンプルでありながら、かわいらしく、そして結末は…。ほろ苦い、切ない思いが心に強く残るのだ。ショヴォー氏の描く絵も何とも言えない味わいになっていて見るほどに面白い。

ティーンズコーナーで待っています！

ティーンズコーナーは、中高生（ティーンズ）世代向けに、さまざまなジャンルの本を集めたコーナーです。図書館3階の北側自動ドアから入り、まっすぐ進んだ先の左側の本棚にあります。看板が目印！

悩み解決のヒントになる本、知識を深める本、趣味を広げる本など、児童書よりもステップアップした内容のものや、10代の皆さんにおすすめの読み物を用意しています。

「〇〇について調べたい！」
「△△の本はどこ？」など、
本に関する相談や探し物は
職員に気軽に聞いてみてね。



発行：春日井市図書館

愛知県春日井市鳥居松町5-44 TEL(0568)85-6800

<http://www.kasugai-lib.jp/>

※表紙画像の掲載にあたっては出版社から許諾を得ています。